

延岡学園と大塚製薬



食育 スポーツ振興 健康増進 県内初の協定 無償で勉強会、指導

学校法人・延岡学園と大塚製薬は11日、食育・スポーツ振興および健康増進に関する連携協定を締結した。大塚製薬と学校との協定は県内初。今後は勉強会などを開催。児童生徒、教職員を対象に科学的根拠に基づいた健康づくりを支援する。

大塚製薬(本社・東京)は各支店で自治体や学校などと健康づくりに関する協定を結んでおり、全国の学校では36校目。延岡学園(佐々木雅彦理事長)は、延岡学園高協定書に署名した(右から)堀田由美子校長、佐藤則夫校長、中村熊本支店長。左端は大塚製薬宮崎出張所の坂元康一所長

校、尚学館中学校・高等部、尚学館小学校に児童生徒1029人が在籍。部活動が盛んなことから締結に至ったという。締結式は、大塚製薬熊本支店の中村吉裕支店長が延岡市中峡町の同校を訪れて行い、延岡学園高と尚学館中・高等部の佐藤則夫校長、尚学館小の堀田由美子校長、中村支店長がそれぞれ協定書に

署名した。

佐藤校長は「本校は運動部活動が活発。連携をきっかけに知識を身に付け、競技力向上に資することができたら」。堀田校長は「食育が一番頭の中にある。これを機会に、

私をはじめ職員一同一緒に勉強させていただきたい」。中村支店長は「児童、生徒、教職員の方の健康維持増進に少しでも役立てる努力をしたい」とあいさつした。

今後は無償で勉強会などを開催。科学的根拠に基づいた熱中症対策に関する取り組みの推進やスポーツ活動時の水分・栄養摂取について、さらに食育に通じた健康づくり、健康増進などを指導

NEWS